

# 社協だより

第167号  
令和3年  
11月10日発行



高齢のお客様に寄り添った応対を心がけるために



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

佐渡市社協

検索



佐渡市畠野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

# \* もくじ \*



## ◆ 表紙の紹介.....

## ◆ かんたんタオル体操.....

曲げで簡単にできる体操の「」紹介です。

## ◆ ボランチヤコーナー.....

市内各地で活躍されているボランティアさんの紹介と、セカンドライフ講座などの「」報告です。

## ◆ ふじもと地域をつなぐ.....

ふじもたおを地域全体で育てる取り組みについてお伝えします。

## ◆ 社会福祉功労者表彰.....

6ページ

## ◆ 寄付のお礼.....

6ページ

## ◆ お知らせ.....

6ページ

## ◆ 赤い羽根共同募金助成整備報告 .....

6ページ

## ◆ みつけて応募! .....

7ページ

脳て問題にチャレンジしましょー!

今回、佐渡農協畠野支店の職員の皆さんを対象に「高齢者の立場にたった窓口応対」をテーマに開催しました。ケアマネジャーからの講義の後、高齢者疑似体験セットを装着して窓口での書類の記入や対応を実践。装着して改めて高齢の方の見えづらいや記入のしづらさ、聞こえにくさなどを体感していました。講義と体験を通して、職員の皆さんから今後の業務に活かしていくといった声を多くいただきました。

「ふくボラ講座」では、福祉に関する様々なプログラムを「」用意しています。企業や団体の研修会、勉強会等で受講してみませんか?お申込みお待ちしています!

社会福祉協議会では、企業や集落等に職員が出て向く「ふくボラ講座」を実施しています。



## ◆ 輝く島の「し年さん」.....

5年間の贈り物の趣味や楽しみ、健康の秘訣を「」紹介します。

8ページ

## ◆ 地域のちつといい話.....

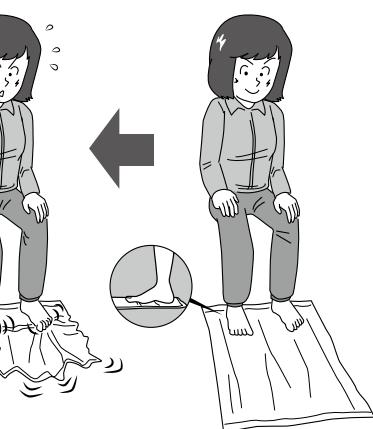
地域で見つけた“いい話”的な情報を分けます。

8ページ

ふじも向けの福祉情報です。

今回は「ほじょ犬マーク」を紹介します。

ふじもたおを地域全体で育てる取り組みについてお伝えします。



## かんたん! タオル体操

家でやってみて  
くれえっちゃん!



そのまま、足の指だけを動かしてタオルをたぐり寄せます。かかとを浮かさないのがポイントです。これで膝から下の筋肉を鍛えることができますよ。

# ボランチャコーナー

どんどん★ボランチャ

「赤いエプロン～私たちが地域でできること～」

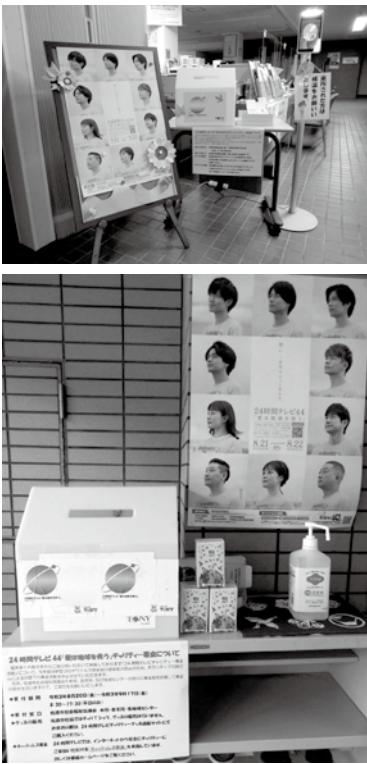
佐渡地区郵便局長夫人会

私たち、少しでも地域の皆さまのお役に立てるように、施設でのボランティア活動に取り組んでいます。お風呂上がりの利用者さまにドライヤーをかける際には、熱い風があたり過ぎないように、心地よいと感じていただけるように、気をつけながら作業を行っています。今後も、少しでも地域の皆さまの笑顔が見られるように、活動していきたいと思っています。

団体の愛称である「赤いエプロン」が由来です！



募金総額  
44,159円



## 24時間テレビ44チャリティー募金

今年も24時間テレビチャリティー募金を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年に引き続いだ社協窓口での募金受付となりましたが、温かなご協力をいただきありがとうございました。

報 告

## セカンドライフ講座 ～初めてのスマートフォン～

9月10日、「初めてのスマートフォン」講座を開催しました。当日は、セカンドライフを充実させるきっかけとして、ボランティア活動の紹介を行った後、ドコモショップ佐渡店様から操作についてお話をいただき、参加者は持参したスマートホンを片手に熱心に受講していました。受講後には、ボランティア登録や活動を希望した方もいらっしゃいました。今後も地域の皆さんのが歩踏み出しきつかけとなるような講座を計画していくたいと思います。



ボランチャコーナーに関するお問合せは  
佐渡市ボランティアセンター ☎ 81-11-155





# 子どもと地域をつなぐ ～地域の教育力と社協の役割～



皆さんが抱く社協のイメージは、どのようなものですか？もともと高齢者向けの事業が多く、デ

うになってきたのではないでしょ  
うか。

イサービスセンターなども運営しているので、「高齢者のための団体」と感じている方が多いかもしませんね。でも実は、子ども向けの事業にも取り組んでいます。

特に佐渡市ボランティアセンター（以下、ボラセン）では、子どもたちに福祉との関わりをもつてもらうための事業に力を入れています。中でも「出前塾」は多くの学校で実施しているので、学校関係の方々や、お子さんがいらっしゃるご家庭の方々には、社協の存在を感じていただけるよ

「出前塾」は福祉教育事業の愛称で、高齢者疑似体験や車いす体験などのプログラムがあります。核家族化がすすんだことなどによつて、高齢の方や障がいのある方との関わりが少ない子どもたち

が増えてきたことを受け、その関わり方を体験的に学ぶ機会として、平成21年に誕生しました。

先日、ある高校での出前塾の際に、生徒の皆さんに「85歳になつたら困ること」を考えてもらつたのですが、イメージが湧きづらい様子が見られました。相手の状態

が分からぬのですから、コミュニケーションの取り方をはじめ、助け方や支え方など、その関わり方も分かりません。そして、このことが招く「無関心」は、支え合い・助け合いの地域づくりにとっても、大きな壁となってしま

いいます。

ボラセンでは今年新たに「福祉体験プログラム」を企画し、夏休み中の児童・生徒を対象とした介護施設や配食サービスのボランティア体験、児童クラブでの宿題ボランティア体験などを予定して

いました。これらの体験を通じて、

一昔前であれば普段の生活の中  
で身についたことが、今は「教  
育前塾で学んだことを活かし、さ  
らに相手の立場に立つて考える心  
や、共に生きる力を学び取つてしま  
い」と考えていたのです。残念な  
がら新型コロナウイルスの影響を  
受けた開催を断念せざるを得ませ  
んでしたが、問合せや申込みは想  
像以上の数が寄せられました。先  
述の出前塾を取り入れる学校が増  
えてきていることや、学校運営協  
議会(※)の委員に社協の職員が任  
命されるようになつていていることか  
らも、福祉への関心の高さと子ど  
もたちに対する福祉教育の必要性  
を強く感じずにはいられません。

存在を身近に感じていただけるよ

学校の  
取り組みを  
ご紹介!



## 佐渡市立 真野中学校

教頭 井狩 歩 先生

真野中学校では「真

野つ子」プロジェクトとして、佐渡の伝統芸能や文化を学ぶとともに、地域との関わりを大切にした地域貢献活動・発信活動に取り組んでいます。

令和元年度から、社協さんのご協力により、民生委員さん同行して一人暮らしの方や高齢の方のお宅を訪問し、メッセージカード等をお届けしています。また、リコーダー部が社会福祉施設を訪問して、リコーダー演奏をしたりミニゲームをしたりして、交流会を行っています。昨年度は感染症対策のため、このような活動はオンラインでの実施となりました。また、文化祭などの学校行事に地域の年配の方をご招待するおもてなし活動や、「真野地区のつどい」や「真野芸能祭」等の地域行事への参画は、コロナ禍の影響で計画



変更や中止をせざるを得ない状況にあるのが残念です。

そんな中、今年度は、佐渡市防災管財課からご指導をいただき、地域の皆さんや社協さんと一緒に防災訓練や防災学習にチャレンジしました。これからも地域とのつながりを大切にし、地域の協力を得ながら教育活動を進めていきたいと考えています。

育」として位置づけなければならなくなっています。人は生まれる時代や環境を選ぶことはできません。その中で、子どもたちは子どもたちなりに、今の時代を生きるための学習に取り組んでいます。もちろん、その土台は学校ですが、学校よりも長い時間を過ごす地域での生活も、彼らに大きな影響を与えると思います。また、学校で学んだことを実際の行動に結びつける場も地域だと思います。ですから、私たちは「地域で育てる」という意識をもって、子どもたちに関わっていくことが大切だと考えています。

小さい頃から福祉との接点を持ち、地域の課題に関心を向けながら暮らしていくことは、未来の支え合い・助け合いへとつながります。そして、地域でのさまざまな方との出会いによって、子どもたちの中に「地域で仲間と共に暮らす意識」が芽生えることは、豊かな地域づくりにもつながります。

そう考えると、子どもたちの成長を支えることは、地域を支えることとも言えるのではないでしょうか。

10年、20年先の福祉を考えるとき、その主人公は今の子どもたちです。彼らに素敵な大人の背中を見せられるように、これまで以上に地域の支え合い・助け合いをすすめていきませんか？

子どもたちにとって、地域の皆さん一人ひとりが大切な先生なのです。

※学校運営協議会とは、公立学校の運営に保護者や地域住民の意見を取り入れるための制度で、教育委員会が任命する委員で構成されています。学校や子どもたちのためだけでなく、大人を含めた地域全体を盛り上げる仕組みでもあるでしょう。



## 令和3年度社会福祉功労者表彰

佐渡市の福祉の進展に尽くされた方々をご紹介します。

社会福祉の進展に尽くし、特に功労顕著の方  
加藤 洋さん（大和）

民生委員（児童委員）で10年以上勤続し、特  
に功労顕著の方

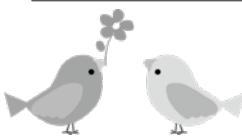
社会福祉事業施設・団体の役職員としての在職期間が、役員は10年以上、職員は20年以上であり、特に功労顕著の方  
植野 研一さん（戸地）  
清い伊いさ木澤さん（相川下戸村）  
松まつ本善夫さん（河原田諏訪町）  
雅まさひろさん（石田）  
英えみ恵子さん（名古屋）

### 令和3年度社会福祉功労者表彰式



※10月22日(金)に佐渡市役所畠野行政サービスセンターで表彰式を開催しました。(写真撮影のため、一時的にマスクを外していただきました。)

## あたたかいご寄付をありがとうございます



令和3年8月16日～10月15日(順不同)

おはようコールボランティア「テレ友」様(佐和田)  
..... タオル40枚  
佐渡たばこ組合様 ..... タオル100枚  
匿名 ..... 1,000円  
匿名 ..... こしいぶき(30kg×5袋)  
匿名 ..... 1,000円

匿名 ..... 玄米30kg  
匿名 ..... 介護用品多数  
匿名 ..... 米(約75kg)、紙オムツ1袋  
匿名 ..... 紙オムツ6袋、リハビリパンツ2袋、尿とりパッド10袋

## お知らせ

### 社協訪問入浴介護事業所の移転について

市内全域でのサービス提供を効率よく行うため、訪問入浴介護事業所の事務所を移転しました。

<移転日> 11月1日(月)

<移転先>

佐渡市栗野江1837番地

(畠野デイサービスセンターやわらぎの里内)

<新電話番号> 58-7180

<新FAX番号> 66-4152

移転に伴い、電話番号等が変更になりました。お手数をおかけして申し訳ございませんが、お手元の控えを修正くださいますようお願い申し上げます。

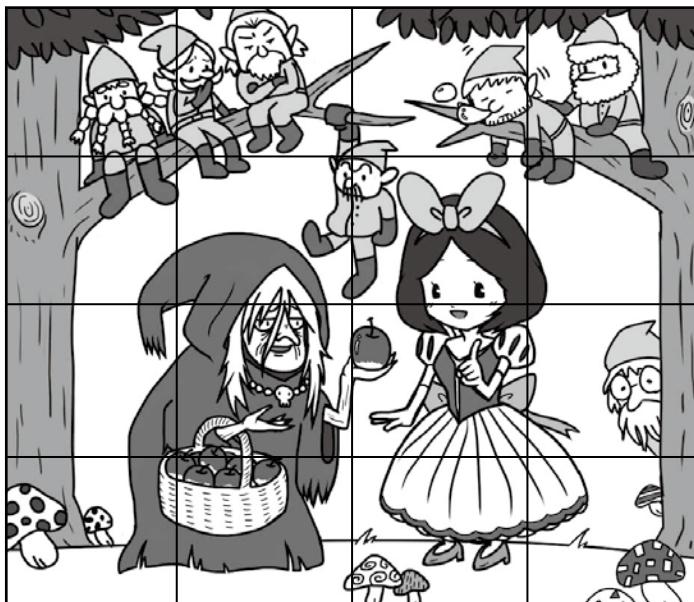


## ありがとう、赤い羽根

このたび、新潟県共同募金会の助成を受けて、羽茂支所で地域福祉事業などに使用する車両を整備しました。赤い羽根共同募金にご協力くださった皆さまからの贈り物ととらえ、大切に使用させていただきます。



心からお礼申し上げます。  
ありがとうございました。



イラストボランティア 菊池 敏さん（小木）

上のイラストには、ちがいとじが5か所あります。イラストをよく見直して、ちがいのあるエコニアをアルファベットでお答えください。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

# みつけ応募！

◎ 今月は正解者の中から抽選で5名様に、西津地区「あんずの家」様の「刺し子のブックカバー」をプレゼントいたします。社協だよりへのご意見・ご要望などを添えて、どんどん応募ください！

## 【応募方法】

ハガキに問題の答えの他、必要事項を記入の上、左記宛先までお寄せください。

また、ホームページのお問合せフォームからもご応募いただけます。ハガキ同様に必要事項を入力し、送信してください。

**締切：12月3日（金）必着**

\*ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。  
\*ご記入いただいた質問や感想を紙面やホームページに掲載させていただく場合があります。了承くださいますようお願いします。

宛先

〒952-0206

佐渡市畠野甲533番地

佐渡市社会福祉協議会

社協だより担当者 行

記載内容

- ・問題の答え・氏名（ふりがな）
- ・住所・電話番号・年齢
- ・社協だよりへのご意見・ご要望など

## 【前回の答え】

166番の答えは

「中秋の名月」でした。

ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。



★丑年の皆さんのお楽しみや趣味や健康の秘訣を教えます★

# 輝く島の うし年さん

★自薦・他薦を問わず、元気な丑年の方を募集中しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありますのでご了承くださいますようお願いします。



佐々木幸子さん 大正14年生まれ  
赤泊地区

卓郎さん 昭和24年生まれ

私は親子で丑年です。私は本が大好きで、シニアカーに乗って近くの図書室へ本を借りに行きます。最近は瀬戸内寂聴さんの「奇縁まんだら」を読みました。孫から借りる名探偵コナンの漫画も大好きです。息子も海釣りや農作業、ボランティアなどをして、元気に過ごしています。

相田栄一郎さん 佐和田地区

パソコンで好きな囲碁のゲームをしたり、畑仕事をしたりして過ごしています。最近はBSでメジャーリーグの野球を見ることも楽しみです。また、健康のために海岸を歩いたり、エアロバイクを使って運動したりしていますが、基本は“食べる”と思い、レシピ本を見ながら野菜を中心とした料理づくりに時間を費やしています。

普段見かける色々なマークには、どんな意味があるんだろう？マークを見かけたら、どうすればいいのかな？

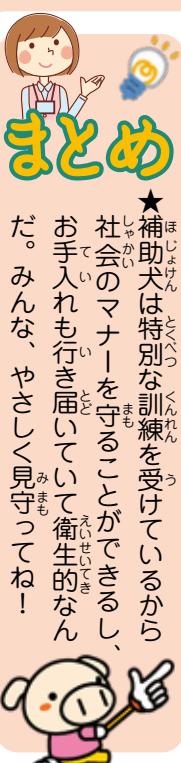
子ども向け企画

## このマークなあに？

今回はほじょ犬マークを紹介するよ。



補助犬とは、目や耳、手足が不自由な人の生活をサポートする「盲導犬」「聴導犬」介助犬の3種類の犬たちの呼び名です。この補助犬への理解を広めるために作られたのが「ほじょ犬マーク」で、さまざまな施設の入り口などに貼られています。少し難しくなりますが、「身体障害者補助犬法」という法律があって、交通機関の他、スーパーやレストラン、ホテルなどの施設は、身体障がいのある方が補助犬を連れて利用する」とを受け入れる義務があります。



## 地域のちつといい話



ある地域で暮らす認知症の方。「もし何かあったら…」と、近所の皆さんを見守りをされています。「今日は戻り出掛けたよ。」「夕方帰ってきたみたい。」「元気そうにしていたよ。」と、自然なカタチで地域に見守りの輪ができています。